

2016年度 診療報酬改定を 特集 現場で読む

今改定は、団塊世代が後期高齢者となる2025年の医療提供体制をそれに耐えうるものにするため、これまでの改定に続き、2018年度の同時改定につながる内容となっています。

また、社会保障の充実・安定化と、そのための安定財源確保・財政健全化の同時達成をめざす2013年の社会保障・税一体改革をふまえたうえで、これまでも最重要課題として挙げられた「地域包括ケアシステム

の構築」「医療機能の分化・強化、連携に関する充実」が引き継がれています。

本特集では、改定内容を解説し、厚生労働省がどのような考えで改定を進めてきたのかを示すとともに、2025年以降をも見据えて、在宅系の医療者が、利用者・家族のニーズをどのようにとらえ、改定内容と提供するサービスをどうマッチングさせていっているのかを現場の目線でご紹介いただきます。